

2018年6月13日
イオン株式会社

「ペットボトルキャップで世界の子どもたちに笑顔を!!」キャンペーン ペットボトルキャップ約2億2,178万個の販売収益を アジアの子どもたちを支援する団体に寄付



イオンは6月12日（火）、全国のお客さまからお寄せいただいたペットボトルキャップ約2億2,178万個の販売収益291万8,277円を、アジアの途上国の子どもたちを支援する3団体に贈呈しました。

今回贈呈したのは、2017年3月から2018年2月の期間に全国のグループ約780店舗に寄せられたペットボトルキャップを、本取り組みに賛同いただいている各エリアのリサイクル業者様に販売した収益金です。寄付金は「公益財団法人プラン・インターナショナル・ジャパン」「公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン」「認定NPO法人世界の子どもにワクチンを日本委員会」の3団体を通じて、ワクチンや栄養 給食、学校の図書などとしてアジアの子どもたちに届けられます。

イオンは2008年より、貧困などの理由により十分な医療や教育を受けられない、あるいは栄養のある食事をとれない状況に置かれた子どもたちを支援するため、お客さまとともに「ペットボトルキャップで世界の子どもたちに笑顔を!!」キャンペーンを継続しています。

これまでに集められたペットボトルキャップは約18億7,796万個、寄付金総額は2,304万6,700円となりました。

イオンは、子どもたちの「夢のある未来」を応援するため、これからもお客さまとともに様々な取り組みを行ってまいります。

【寄付金贈呈式】

- 日時：6月12日（火）15：00～16：00
- 場所：イオンリテール株式会社 北関東カンパニー事務所 9階会議室
（東京都千代田区神田錦町1-1 帝都神田ビル）
- 寄付額：291万8,277円
（ペットボトルキャップ約2億2,178万個相当）
- 贈呈先：公益財団法人プラン・インターナショナル・ジャパン
（ベトナムの子どもたちへの図書等を提供）
公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
（ベトナムの子どもたちへ栄養給食を支給）
認定NPO法人世界の子どもにワクチンを日本委員会
（ラオスの子どもたちにワクチン接種）
※贈呈先団体名は、五十音順
- 主な出席者：公益財団法人プラン・インターナショナル・ジャパン 事務局長 佐藤 活朗 様
公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン 事務局長 千賀 邦夫 様
認定NPO法人世界の子どもにワクチンを日本委員会 理事長 剣持 睦子 様
イオン株式会社 グループ環境・社会貢献部 部長 金丸 治子



贈呈式にて、写真左から
イオン 金丸 治子、佐藤 活朗、剣持 睦子、千賀 邦夫 様

ご参考

【昨年6月に贈呈した寄付の状況】

2017年6月に贈呈しました2億3,019万個のペットボトルキャップの
販売収益(2016年3月から2017年2月分)は、このように世界の子どもたちに届けました。



図書室で読書を楽しむ子どもたち



子どもたちの体重と身長を測定



ワクチン接種を待つKod Yai村の人たち



図書室を掃除する子どもたち



Save the Children
セーブ・ザ・チルドレン



栄養価の高い離乳食を食べる子ども



ワクチン接種を受けきた子ども

ベトナムの子どもたちに 図書室と図書を支給

ハズン省シンマン郡のナンマ小学校に通う少数民族の児童456人が、ベトナム語に親しみ、読解能力を高め、学習成果が向上するよう、学校の図書室建設および図書・備品の支給を行いました。

支給品目

- 本校の図書室設置
- 図書 合計1,970冊
- 本棚11台、机8台、いす64脚、黒板2枚

現地の小学生からのメッセージ

私は本を読むのが大好きで、図書室に週2回通っています。図書室にはおとぎ話や小説から科学の本まであり、私はホー・チミンの物語の本が一番好きです。本を読むことで、知っていることをどんどん増やすことができます。このような支援をしてくださりありがとうございます。いつかベトナムのすべての子どもたちが本を読めるようになればと願っています。(ナンマ小学校4年生)

ベトナムの子どもたちに 栄養給食を支給

ベトナム北部の少数民族が多く居住する地域を対象として事業を実施しています。子どもの身体測定データを設定し、栄養不良の子どもたちには、栄養食を提供できるようにすると共に、母親たちは、地場の食材の活用や低コスト農業技術の活用を通して、栄養回復センターで栄養食作りを学ぶことができました。

支給品目

- 栄養給食 約56,478食相当

現地の保護者からのメッセージ

栄養回復センターのプログラムに参加して最もよかったのは、子どもに栄養価の高い食事を作る方法を学ぶことができたことです。炭水化物、肉や魚などのタンパク質、油などの脂肪、野菜などのビタミンのバランスの良い摂取が必要だということわかりました。私の息子も栄養不良の状態にありましたが、徐々に体重を増やし、栄養不良状態から脱することができました。村の子どもたちのために、より良い栄養状態を維持しながら健康的な生活を送れるように支援する本事業にとっても感謝しています。(イエンバイ省 二人の子どもの母親)

ラオスの子どもたちに BCGワクチンを接種

JCVは開発途上国の子どもたちにワクチンを贈っている団体です。みなさまからのあたたかいご支援により、ラオスの子どもたちを結核から守るためのワクチンを贈ることができました。

支給品目

- BCG(結核)ワクチン 約73,695人分

現地の協力団体からのメッセージ

経済成長に加え、貧困削減や母子保健の改善などがみられるラオス。子どもの死亡率も減少してきていますが、同国の1歳児のうち、すべての推奨ワクチンを接種しているのは全体のわずか1/3にすぎません。特に、道路が整備されていない遠隔地の子どもの接種率は低く、改善スピードも停滞しています。政府は、ワクチン接種費用の予算を約3倍に増やすなど対応していますが、十分ではありません。引き続き、皆さまのご支援を必要としています。(UNICEFラオス事務所)